



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 真治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR統括部長

(氏名) 三上 仙智

TEL 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,318	12.8	△155	—	△170	—	△203	—
27年3月期第1四半期	10,037	△2.3	△128	—	△158	—	△146	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △280百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △360百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△22.32	—
27年3月期第1四半期	△16.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	29,782	11,692	37.4
27年3月期	29,992	12,110	38.5

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 11,146百万円 27年3月期 11,540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	4.2	400	—	350	△2.4	500	—	54.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	9,127,338 株	27年3月期	9,127,338 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	18,823 株	27年3月期	18,813 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	9,108,520 株	27年3月期1Q	8,997,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済を取り巻く環境は、継続する円安トレンドによって輸出型企業にプラスの影響を与える一方、原油価格、電気料金の値上がりを招き、また、後者の影響とともに昨年4月に実施された消費税率の引き上げが、国内の企業活動にマイナス影響を与えました。

また、海外経済を取り巻く環境も欧州の金融問題と中国のバブル懸念等により力強さに欠ける中で推移しました。

この様な環境のもと、当社グループは日本、アセアン及び北中米地域において、中長期視点に立った事業収益基盤づくりを進めておりますが、足元の事業収益はフィリピン工場、メキシコ工場の開設にかかる先行投資費用と国内子会社の減収による影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,318百万円（前期比12.8%増）、営業損失は155百万円（前期は128百万円の営業損失）、経常損失は170百万円（前期は158百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は203百万円（前期は146百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、バンコク工場、ベトナム工場が増収増益となったものの、メキシコ工場及び国内稲沢工場の先行投資費用等の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は2,934百万円（前期比4.9%増）、全社費用配賦前のセグメント損失49百万円（前期は10百万円のセグメント損失）、配賦後のセグメント損失は67百万円（前期は39百万円のセグメント損失）となりました。

#### ・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォン、タブレット型端末向け部材及び検査治具用部材の他、燃料電池用部材の好調な受注に支えられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は5,142百万円（前期比15.1%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は133百万円（前期比53.9%増）、配賦後のセグメント利益は5百万円（前期は30百万円のセグメント損失）となりました。

#### ・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、中華圏における金型販売の減益とフィリピン工場の先行投資費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は1,942百万円（前期比38.8%増）、全社費用配賦前のセグメント損失は80百万円（前期は62百万円のセグメント損失）、配賦後のセグメント損失は91百万円（前期は76百万円のセグメント損失）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器向け配管部品は堅調に推移したものの、住宅用配管部材が大きく減少する中で推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は723百万円(前期比16.5%減)、全社費用配賦前のセグメント利益は30百万円(前期比40.8%増)、配賦後のセグメント損失は5百万円(前期は21百万円のセグメント損失)となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は636百万円(前期比3.3%減)、全社費用配賦前のセグメント利益は47百万円(前期比40.0%減)、配賦後のセグメント利益は16百万円(前期比71.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて128百万円減少し15,364百万円となりました。これは棚卸資産が359百万円、受取手形及び売掛金が175百万円、未収入金が57百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が743百万円減少したことなどが主な要因となっております。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて80百万円減少し14,417百万円となりました。これは投資有価証券が37百万円減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて209百万円減少し29,782百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて460百万円増加し13,070百万円となりました。これは、短期借入金が66百万円減少したものの、買掛金が222百万円、未払金が200百万円、1年内返済長期借入金が106百万円それぞれ増加したことなどが主な要因となっております。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて252百万円減少し5,019百万円となりました。これは長期借入金が192百万円、長期リース債務が38百万円それぞれ減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて207百万円増加し18,089百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて417百万円減少し11,692百万円となりました。これは為替換算調整勘定が26百万円増加したものの、利益剰余金が339百万円減少したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.1ポイント減少の37.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,408,055	4,664,908
受取手形及び売掛金	6,729,428	6,905,417
電子記録債権	233,669	207,268
商品及び製品	1,612,004	1,827,676
仕掛品	473,508	471,366
原材料及び貯蔵品	489,576	635,766
繰延税金資産	16,123	16,405
未収入金	378,403	435,781
その他	154,768	201,639
貸倒引当金	△2,113	△1,699
流動資産合計	15,493,424	15,364,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,424,907	9,456,509
減価償却累計額	△3,685,936	△3,785,195
建物及び構築物(純額)	5,738,970	5,671,314
機械装置及び運搬具	7,699,373	7,713,704
減価償却累計額	△5,098,628	△5,158,787
機械装置及び運搬具(純額)	2,600,744	2,554,917
工具、器具及び備品	907,968	917,084
減価償却累計額	△597,407	△614,973
工具、器具及び備品(純額)	310,561	302,111
土地	1,503,641	1,666,666
建設仮勘定	753,098	717,700
有形固定資産合計	10,907,017	10,912,709
無形固定資産	141,645	162,953
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132,988	2,095,178
繰延税金資産	27,355	27,087
その他	1,338,368	1,254,277
貸倒引当金	△48,770	△34,339
投資その他の資産合計	3,449,942	3,342,203
固定資産合計	14,498,605	14,417,866
資産合計	29,992,029	29,782,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,070,730	9,293,629
短期借入金	1,599,150	1,532,500
1年内返済予定の長期借入金	449,224	556,129
リース債務	178,635	183,359
未払法人税等	100,181	108,312
賞与引当金	227,248	160,435
その他	985,047	1,236,170
流動負債合計	12,610,218	13,070,536
固定負債		
長期借入金	3,144,781	2,952,166
リース債務	386,733	348,108
繰延税金負債	639,239	610,990
再評価に係る繰延税金負債	2,641	2,641
環境対策引当金	20,450	17,293
退職給付に係る負債	817,063	844,838
資産除去債務	50,871	39,590
その他	209,602	203,418
固定負債合計	5,271,382	5,019,046
負債合計	17,881,600	18,089,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,299,765	2,299,765
利益剰余金	4,575,027	4,235,053
自己株式	△12,123	△12,127
株主資本合計	10,000,424	9,660,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302,755	221,807
土地再評価差額金	5,545	5,545
為替換算調整勘定	1,232,153	1,258,903
その他の包括利益累計額合計	1,540,454	1,486,257
非支配株主持分	569,549	546,111
純資産合計	12,110,428	11,692,814
負債純資産合計	29,992,029	29,782,397

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	10,037,378	11,318,175
売上原価	9,029,254	10,239,587
売上総利益	1,008,124	1,078,587
販売費及び一般管理費	1,136,637	1,234,281
営業損失(△)	△128,513	△155,693
営業外収益		
受取利息	3,715	4,329
受取配当金	5,204	6,695
スクラップ売却益	8,690	8,158
その他	12,140	20,059
営業外収益合計	29,750	39,242
営業外費用		
支払利息	31,947	31,478
電子記録債権売却損	4,415	5,347
為替差損	17,620	8,233
その他	5,574	8,596
営業外費用合計	59,558	53,656
経常損失(△)	△158,321	△170,107
特別利益		
固定資産売却益	95	475
その他	30	—
特別利益合計	126	475
特別損失		
固定資産処分損	1,143	1,352
特別退職金	17,992	—
特別損失合計	19,135	1,352
税金等調整前四半期純損失(△)	△177,331	△170,984
法人税、住民税及び事業税	42,780	53,451
法人税等調整額	△73,242	△14,924
法人税等合計	△30,462	38,527
四半期純損失(△)	△146,869	△209,512
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△6,165
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△146,853	△203,346

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△146,869	△209,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,889	△80,947
為替換算調整勘定	△267,569	9,494
その他の包括利益合計	△213,680	△71,453
四半期包括利益	△360,549	△280,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360,491	△257,544
非支配株主に係る四半期包括利益	△58	△23,421

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,794,416	4,467,932	1,301,069	865,801	9,429,220	608,158	10,037,378	—	10,037,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,117	—	98,186	—	102,304	49,941	152,245	△152,245	—
計	2,798,534	4,467,932	1,399,256	865,801	9,531,525	658,099	10,189,624	△152,245	10,037,378
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△39,701	△30,296	△76,246	△21,109	△167,353	57,024	△110,328	△18,184	△128,513

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は225,207千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	△10,424	86,811	△62,734	21,679	79,545	114,878
全社費用	29,276	117,107	13,512	42,789	22,520	225,207
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△39,701	△30,296	△76,246	△21,109	57,024	△110,328

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,933,527	5,142,682	1,926,626	723,239	10,726,075	592,100	11,318,175	—	11,318,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,049	—	15,980	—	17,029	44,449	61,479	△61,479	—
計	2,934,576	5,142,682	1,942,606	723,239	10,743,105	636,550	11,379,655	△61,479	11,318,175
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△67,513	5,610	△91,942	△5,396	△159,242	16,317	△142,924	△12,769	△155,693

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、RFID等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は224,520千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は セグメント損失(△)	△49,551	133,587	△80,716	30,527	47,750	81,596
全社費用	17,961	127,976	11,226	35,923	31,432	224,520
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△67,513	5,610	△91,942	△5,396	16,317	△142,924

## Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。